



岐阜県現代陶芸美術館  
Museum of Modern Ceramic Art, Gifu



多治見市政記者クラブ同時配布資料  
岐阜県政記者クラブ加盟社各位

令和8年4月8日(水) 岐阜県発表資料			
担当課	担当	担当者	電話番号
現代陶芸美術館	教育普及係	澤田	代表 0572-28-3100 FAX 0572-28-3101

## 岐阜県現代陶芸美術館

### 「令和8年度 展覧会スケジュール」を発行しました

岐阜県現代陶芸美術館では、毎年、当館で開催する特別展および企画展の年間予定を掲載した年間スケジュールを発行しています。

このたび、令和8年度の展覧会の予定をまとめた年間スケジュールを下記のとおり発行しました。

#### 記

- 内容** 令和8年度の展覧会開催予定、各展覧会の概要、見どころを掲載しています。
- 配布先** 当館に設置するほか、各地の博物館施設、図書館をはじめとする公共施設等に配布予定です。また、右下の当館ホームページ（外部サイト）にもPDFファイルを掲載します。

岐阜県現代陶芸美術館

検索 

ホームページ：<https://www.cpm-gifu.jp/museum/>

陶芸の現代をテーマとして、世界各地の近現代の陶芸作品を収集し、さまざまな展覧会を開催していきます。さらには、陶磁器を通じた人的ネットワークの構築や、地域との連携などを視野に入れた活動も展開しています。

開館時間 ■ 10:00-18:00(入館は17:30まで)  
休館日 ■ 月曜日(月曜日が祝日の場合は翌平日)  
2026年12月29日-2027年1月3日  
企画展 ■ 一般370円(団体310円)  
(コレクション展) 大学生240円(団体180円)  
観覧料 ■

\* 団体は、20名以上となります。  
\* 特別展については、別料金となります。  
なお、特別展開催時は、特別展観覧券で企画展(コレクション展)も観覧できます。  
\* 高校生以下(未就学児を含む)は、特別展を含め、すべて無料です。  
\* 以下の手帳をお持ちの方、および付き添いの方1名まで、無料です。  
身体障害者手帳、精神障害者保健福祉手帳、療育手帳、  
特定医療費(指定難病)受給者証・登録者証

住所 ■ 〒507-0801 岐阜県多治見市東町4-2-5(セラミックパークMINO内)  
電話番号 ■ 0572-28-3100 FAX番号 ■ 0572-28-3101  
美術館HP ■ <https://www.cpm-gifu.jp/museum/>

## General Information

Hours ■ 10:00-18:00 (Visitors admitted until 17:30)  
Closed Days ■ Closed on Mondays  
(Open on holiday Mondays and closed on the following weekdays)  
December 29, 2026 - January 3, 2027  
Admission Fees ■ Adults ¥370 (¥310 per person for groups of 20 or more)  
College and university students ¥240  
(¥180 per person for groups of 20 or more)  
\* Additional admission charges apply during special exhibitions.  
\* Free admission for primary and secondary school students.  
\* Persons with disability or with intractable disease and one person accompanying them are admitted free of charge.

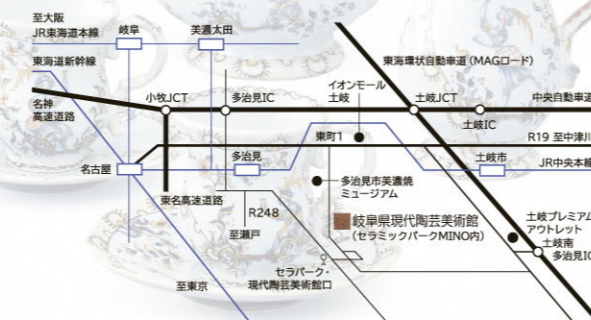
Address ■ 4-2-5, Higashi-machi, Tajimi-city, Gifu-prefecture, 507-0801  
TEL / FAX ■ +81-572-28-3100 / +81-572-28-3101

## 公共交通機関でのアクセス

- 東京・大阪方面→名古屋駅でJR中央本線に乗り換え  
・名古屋→多治見 快速35分
- JR中央本線多治見駅から  
・タクシー 約10分  
・多治見市コミュニティバス オリベ観光ルート 約20分  
「セラミックパークMINO」下車(土・日・祝のみ)
- ・東鉄バス「瑞浪駅前」行き、「妻木上郷」行き、「駄知」行き 約15分  
「セラパーク・現代陶芸美術館口」下車 徒歩約10分

## お車でのアクセス(駐車場無料 一般312台収容)

- 東京方面: 東名高速→豊田JCT経由、新東名高速→豊田東JCT経由
- 富山方面: 東海北陸自動車道→美濃関JCT経由
- 長野方面: 中央自動車道→土岐JCT経由  
→東海環状自動車道 土岐南多治見ICから約5分
- 大阪方面: 名神高速→小牧JCT経由  
→中央自動車道 多治見ICから国道19号を土岐・中津川方面に約10分  
→東町1の交差点を右折

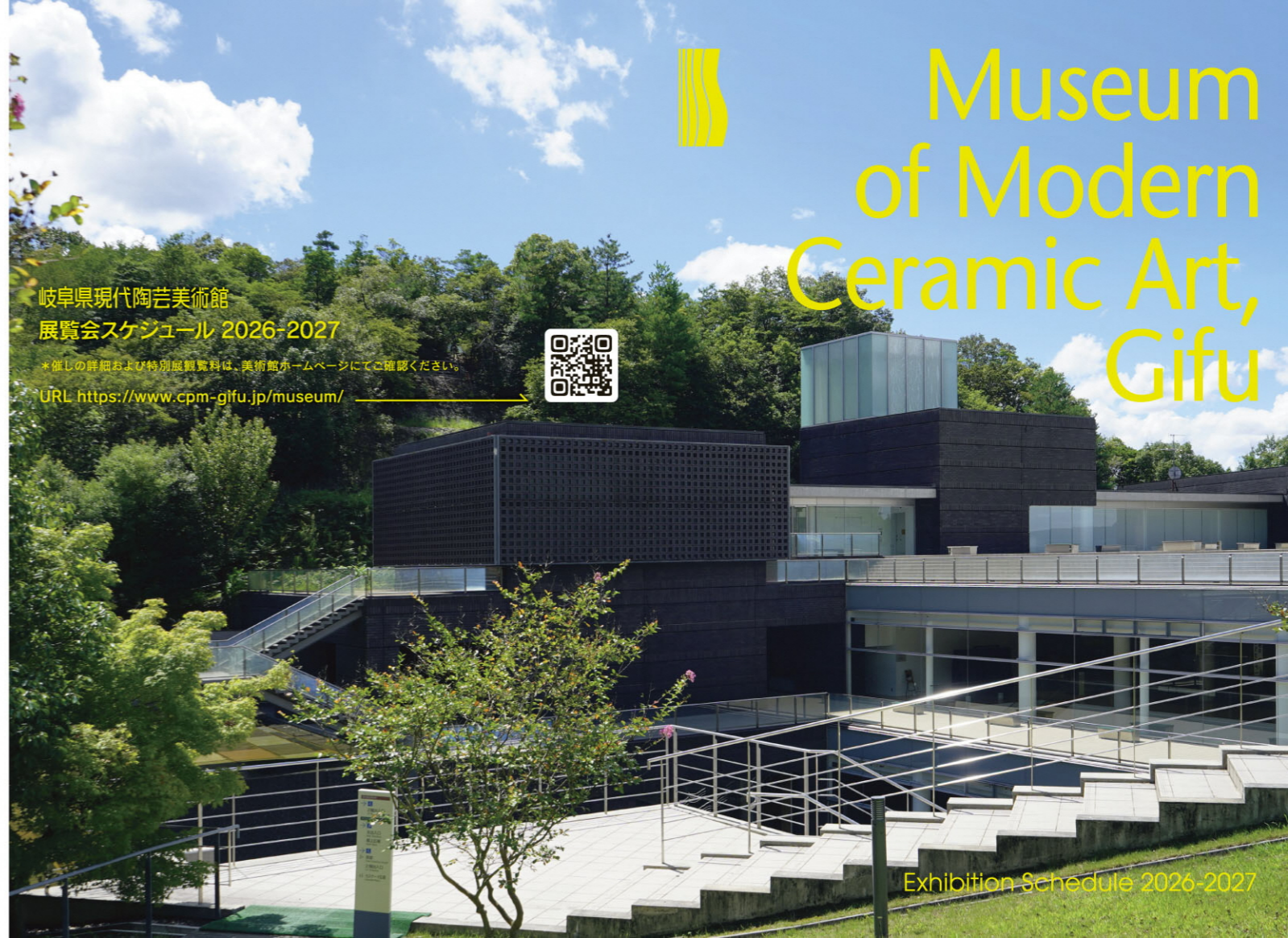


# Museum of Modern Ceramic Art, Gifu

## 岐阜県現代陶芸美術館 展覧会スケジュール 2026-2027

\* 催しの詳細および特別展観覧料は、美術館ホームページにてご確認ください。

URL <https://www.cpm-gifu.jp/museum/>



展覧会スケジュール			2026/4	5	6	7	8	9	10	11	12	2027/1	2	3
ギャラリーI 【特別展】			ロイヤル コペンハーゲンと北欧デザインの煌めき アール・ヌーヴォーからモダンへ 4/4-6/21				吉田璋也のデザイン —新作家藝運動がめざした未来 7/11-9/27			セラミックス・ジャパン2 戦後日本の陶磁器デザイン(仮称) 10/24-1/17			ishoken展 多治見市陶磁器意匠研究所の歩み 1/30-3/14	
ギャラリーII 【企画展】	展示室A (2F)		七代加藤幸兵衛展 4/24-5/31		林正太郎展 6/6-7/12		大地のこどもたち 2026 わたしたちのエネルギー 8/1-8/30			コレクション・ハイライト 12/19-3/22				
	展示室B (3F)		コレクション・ハイライト			4/24-7/12			受贈記念 ドレスデン ポルツェラン 9/15-12/6			令和7(2025)年度新収蔵品展 II 12/19-3/22		
	展示室C,D (3F)		令和7(2025)年度新収蔵品展 I 4/24-7/12											
プロジェクトルーム			イリザベタ・ポルトノヴァ展 4/24-5/17		*第13回国際陶磁器展美濃グランプリ受賞作家									

## ギャラリーI【特別展】

日欧プライベートコレクション  
**ロイヤル コペンハーゲンと  
 北欧デザインの煌めき**  
 アール・ヌーヴォーからモダンへ  
 Through the eyes of Japanese and European collectors  
 Royal Copenhagen and Scandinavian Design  
 Art Nouveau to Modern  
 2026年4月4日(土) - 6月21日(日)



ロイヤル コペンハーゲン《皿「ブルーフルーテッド」》1795年 塩川コレクション  
 デンマークとスウェーデンの陶磁器、銀器、ガラス器を中心に、北欧デザインの魅力に迫る展覧会です。デンマーク王立磁器制陶所を起源とするロイヤル コペンハーゲンははじめ、同僚と人気を競い合ったビング オー グレンダール、銀製品で名高いジョージ ジェンセン、ノーベル賞晩餐会で使われるガラス器を提供しているオレオファスなどの優品により、アール・ヌーヴォーからモダンへと連なるデザインの流れを紹介いたします。

**吉田璋也のデザイン**  
 —新作家藝運動がめざした未来  
 The Designs of Yoshida Shoya - Imagining the  
 Future with the New Mingei Movement  
 2026年7月11日(土) - 9月27日(日)

鳥取に生まれた吉田璋也(1898-1972)は、医師でありながら、柳宗悦が提唱した民藝の思想に深く共鳴し、民藝運動に生涯を捧げた人物です。吉田は、陶芸、木工、染織、金工など多岐にわたる地域の職人らと向き合いながら、現代の生活にふさわしい日用品を自ら指導・デザインし、それらの流通、販売、普及までを一つの循環として構築していました。本展では、吉田が取り組んだ新作家藝運動の思想と実践の足跡を、吉田の蒐集品、吉田が手掛けた新作家藝、そして関連資料などを通じて紹介します。



牛ノ戸徹、吉田璋也《デザイン》(線輪白釉黒輪三方掛分皿) 1957年  
 鳥取民藝美術館蔵

**セラミックス・ジャパン2**  
 戦後日本の陶磁器デザイン(仮称)  
 Ceramics Japan 2: Designing Ceramics in  
 Postwar Japan (tentative)  
 2026年10月24日(土) - 2027年1月17日(日)



白山陶器株式会社  
 藤正洋(宇ザイン)  
 (G型1よゆさし)  
 1958年  
 岐阜県現代陶芸  
 美術館蔵

戦後日本でつくられた陶磁器のデザインを概観する展覧会です。第二次世界大戦後、日本の陶磁器生産は輸出産業として再び活気づきます。各地の産地、メーカーやデザイナーらが、人々の生活を豊かにし、また国際競争力を高めるために、優れたデザインを生み出し、活動を展開してきました。本展では、戦後、高度経済成長期からバブル崩壊以降の現代まで、人々の生活と社会に呼应しながら、多様に展開していった魅力ある陶磁器デザインに着目し、その様々な潮流を紹介いたします。

**ishoken展**  
 多治見市陶磁器意匠研究所の歩み  
 Ishoken Graduates  
 Contribution of Tajimi City Pottery Design and Technical Center  
 2027年1月30日(土) - 3月14日(日)

岐阜県東濃地方において、多治見市陶磁器意匠研究所は人材育成、試験研究、業界支援を通じて、陶磁器の産業と文化に貢献を重ねてきました。近年は国際的な交流も進め、ishokenの略称で海外にも知られるようになりました。本展は同研究所と共同で開催し、約70年にわたるその歩みの意義と実績を紹介するものです。修了後に活躍する作家たちによる、鑑賞用の器やオブジェなどと、実用陶磁器デザインの両面にわたって、多彩な成果をご覧ください。



加藤委《無題》2002年 岐阜県現代陶芸美術館蔵

## ギャラリーII【企画展】

**美濃陶芸の系譜**  
 The Genealogy of Mino

**七代加藤幸兵衛展**  
 KATO Kobei VII  
 2026年4月24日(金) - 5月31日(日)

**林正太郎展**  
 HAYASHI Shotaro  
 2026年6月6日(土) - 7月12日(日)

**コレクション・ハイライト**  
 Collection Highlights

**令和7(2025)年度新収蔵品展 I**  
 Exhibition of the New Acquisition in 2025 I

2026年4月24日(金) - 7月12日(日)  
 ※6月2日(火) - 6月5日(金)は展示準備のため閉室します

## プロジェクトルーム

第13回国際陶磁器展美濃グランプリ受賞作家  
**イリザベタ・ポルトノヴァ展**  
 Ielizaveta Portnova  
 2026年4月24日(金) - 5月17日(日)

**大地のこどもたち2026**  
 The Children of the Earth 2026  
 2026年8月1日(土) - 8月30日(日)

「わたしたちのエネルギー」をテーマとし、県内小学校、中学校、特別支援学校の児童・生徒が、学校の教育活動の中で、粘土と一生懸命に向き合って生み出された「やきもの」の作品を展示します。



大地のこどもたち2023  
 最優秀賞作品

**受贈記念 ドレスデン ポルツェラン**  
 Donation Commemorative Exhibition: Dresden Porcelain  
 2026年9月15日(火) - 12月6日(日)

**コレクション・ハイライト**  
 Collection Highlights

**令和7(2025)年度新収蔵品展 II**  
 Exhibition of the New Acquisition in 2025 II

2026年12月19日(土) - 2027年3月22日(月・祝)



Museum of Modern Ceramic Art, Gifu もむか

## 岐阜県現代陶芸美術館(MoMCA)の教育普及プログラム

岐阜県現代陶芸美術館では、様々な教育普及プログラムを開催しています。

### 知るワークショップ

素材や技法を理解したり、作家の見方や考え方、海外の文化を知ったりするなど、体験しながら多様に学ぶワークショップです。 ●要事前申込 ●要参加費

### 季節のワークショップ

季節にあわせたやきもの表現に取り組むワークショップです。 ●要事前申込 ●要参加費

### MoMCAの小さな図工室

展覧会を見て感じたことを色や形に残してお土産にして持ち帰ります。誰でも気軽に立ち寄って参加できる、造形ワークショップです。 ●事前申込不要 ●参加無料

### こどもむかデー

大人も子どもも一息ついていたただけるゆったりスペースを美術館内に設置しています。気軽にゆったりした気持ちで過ごしていただけます。 ●事前申込不要 ●参加無料

### ギャラリートーク

当館学芸員が展示案内をします。作品に対する専門的な理解を深めていただけます。 ●事前申込不要 ●参加無料(要観覧券)

### MoMCAやわらかアート・ツアー

感じたことや見つけたことをもとに、楽しく対話しながら展覧会を鑑賞します。子どもも大人も気軽に楽しめる、「やわらかい」鑑賞ツアーです。 ●事前申込不要 ●参加無料(要観覧券)

### 先生と先生のためごのための美術鑑賞会

開催中の展覧会で鑑賞プログラムを体験する鑑賞会です。鑑賞学習に取り組む学校の先生や、教育を学ぶ学生の皆さんはもちろん、鑑賞学習に関心のある方なら、どなたでも参加していただけます。 ●要事前申込 ●参加無料

👉 **学校美術館 — MoMCAが学校にやってきた!** 👈

当館コレクションから数点を県内小中学校に展示し、  
 児童・生徒および地域のみなさんが鑑賞する機会をつくります。

プログラムの開催日や詳細、その他のイベントにつきましては、  
 現代陶芸美術館ホームページ (<https://www.cpm-gifu.jp/museum/>) などをご確認ください。